

研究結果報告書

台湾における日本語の受容と定着に関する言語研究

所属：新生医護管理専科学校 応用日本語学科

役職：助理教授

氏名：張 瑜珊

本研究は台湾の「医療・看護・介護」の日本語教育の現状を調査し、その結果を踏まえて、今後の日本語教育のあり方を考える。まず、日本の介護福祉士の養成課程と、台湾の医療・看護・介護の養成課程を比較し、その違いを明らかにする。また、台湾の日本語教育の現状を調査し、その結果を踏まえて、今後の日本語教育のあり方を考える。本研究は、台湾の「医療・看護・介護」の日本語教育の現状を調査し、その結果を踏まえて、今後の日本語教育のあり方を考える。本研究は、台湾の「医療・看護・介護」の日本語教育の現状を調査し、その結果を踏まえて、今後の日本語教育のあり方を考える。

同時に、台湾での「医療・看護・介護」の日本語教育の現状を調査し、その結果を踏まえて、今後の日本語教育のあり方を考える。本研究は、台湾の「医療・看護・介護」の日本語教育の現状を調査し、その結果を踏まえて、今後の日本語教育のあり方を考える。本研究は、台湾の「医療・看護・介護」の日本語教育の現状を調査し、その結果を踏まえて、今後の日本語教育のあり方を考える。本研究は、台湾の「医療・看護・介護」の日本語教育の現状を調査し、その結果を踏まえて、今後の日本語教育のあり方を考える。

次に、「看護と介護の日本語教育研究会」のワークショップにも参加した。さらに、東京首都大学「アジアと日本の将来を担う看護・介護人材の育成」プログラムの担当者（西郡仁郎教授）を訪問してインタビューを実施したところ、台湾人が日本の看護介護産業に参入することが非常に難しいと感じた。

本研究を通じて出てきた台湾側の課題は、現時点、日本の高等教育機関を卒業し介護福祉士の国家資格を取ることが難しく、彼らに「医療・看護・介護」の日本語教育（言葉だけを習得するだけでなく、生活に必要な言語力を含めた教育）をカリキュラムに入れないことである。

研究成果の公表について

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

張瑜珊(2016)「日本の外国人介護福祉士の導入制度から台湾の「医療・看護・介護日本語教育」を考える」『2016第五屆外語文教學國際學術研討會-逢甲與東亞場域』日文論文集,pp.107-120.(2016年10月22日@台湾逢甲大学)

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

(印刷中)

張瑜珊(2017予定)「台湾の「医療・看護・介護日本語」教育について—開講状況と教科書に関する基礎的調査—」『大葉應用日語學報』第12号

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)